



第2次橋本市長期総合計画

実施計画

令和8年度 主要事業



人輝き あたたかさ湧きでる
みんなで創造する
元気なまち 橋本

実施計画の構成と期間

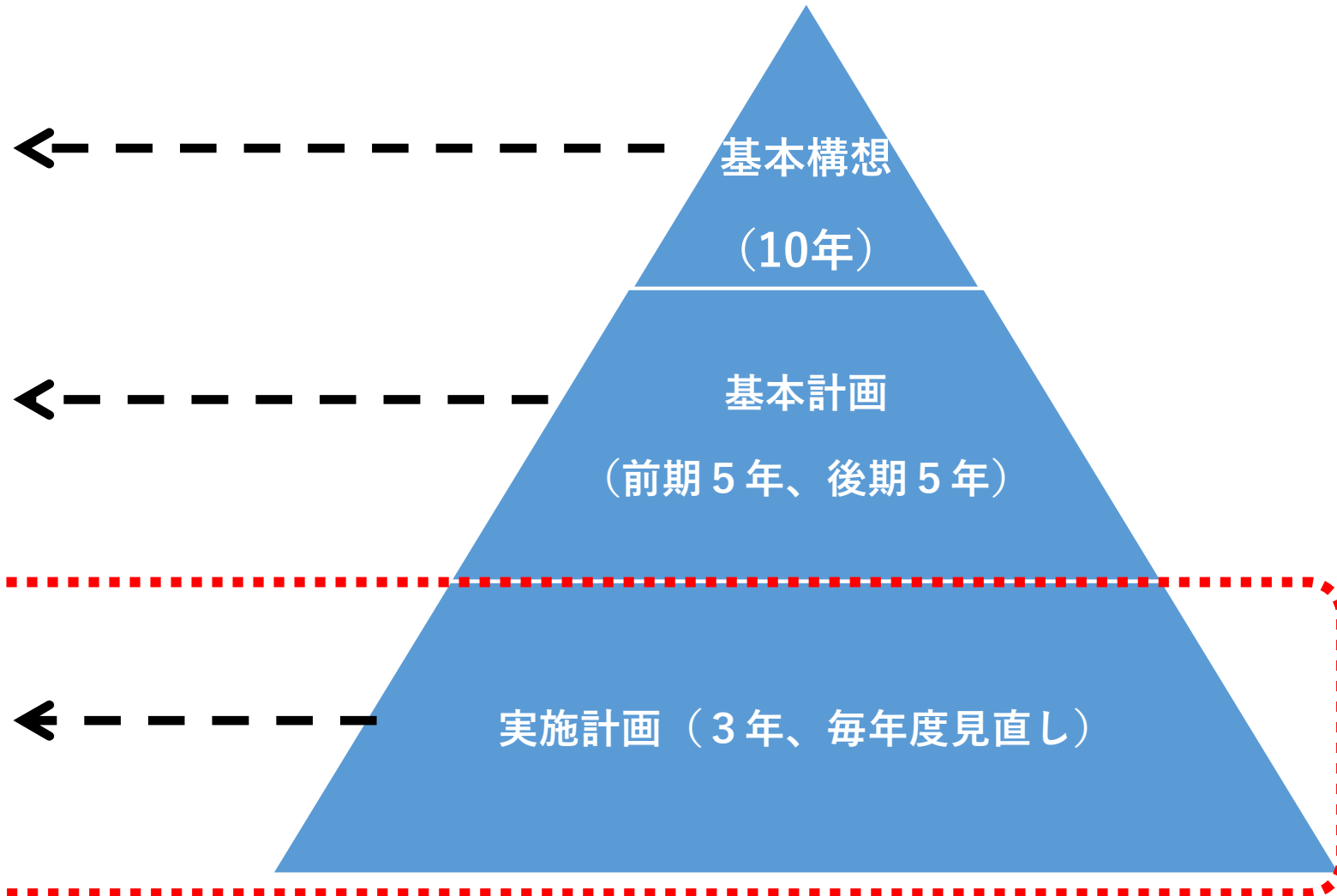


総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成されており、それぞれに期間を設定しています。

「基本構想」は、橋本市がめざす将来像や、まちづくりの基本目標を設定し、これらを達成するための施策展開の方向性を示しています。

「基本計画」は、基本構想に掲げる目標等を実現するための施策を示し、分野別に体系化しています。

「実施計画」は、基本計画に位置付けられた施策の具体的な事業を示しています。計画期間を3年とし毎年度見直します。





長期総合計画の基本計画に位置付けられた施策について今後3年間の方向性や事業内容を示したものです。

令和8年度の実施計画のうち主要なものについて以下にまとめました。

目次

- 01 施策別重点化事業（重点プロジェクト事業）
- 02 行政推進の基本姿勢重点化事業
- 03 DXの推進

0 | 施策別 重点化事業

総合計画 体系



3つの基本目標 9つの政策 37の施策項目 により 元気なまち を創出

①ともに創る ～産業の振興と雇用を創出し定住できるまち～

1 賑わいと活力を創出する地域産業づくり 2 雇用の創出と就労環境づくり 3 充実した情報整備と魅力的なまちづくり

②ともに守る ～安全・安心な暮らしを守り支えるまち～

4 安全・安心な暮らしと、生活の利便性を支える都市基盤づくり 5 豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり
6 住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能な仕組みづくり

③ともに育てる子どもから高齢者までともに育み学び合うまち

7 一人ひとりの個性が尊重され思いやりのあるまちづくり
8 妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり
9 生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるまちづくり

行政推進の基本姿勢

1 協働によるまちづくり 2 多様な連携の推進 3 持続可能な行政運営

重点プロジェクト



長期総合計画の基本構想において掲げた将来の目標人口である6万人維持にむけ3つの観点から重点プロジェクトを設定しています。

重点プロジェクト関連する事業に以下のマークをつけています。



子

①まち全体で子どもを育む
(出生数の改善)

合計特殊出生率を改善するとともに、ファミリー層の転入促進を通じて出産を希望する人口を増やし、出生数の改善を図ることで、人口の減少速度を緩やかにし、目標人口の達成を目指すものとします。

安心できる出産・子育て
経済的負担軽減
インナープロモーション



魅

②まちの魅力をみがき伝える
(ファミリー層の転入促進)

ファミリー層からの橋本市に対する評価は、特に子育て支援において高くなっています。ファミリー層のさらなる転入促進を図ることで、人口の減少速度を緩やかにし、目標人口の達成を目指すものとします。

子育て環境
遊び・居場所
アウトタープロモーション



住

③住み続けられるまちをつくる
(転出超過の抑制)

進学や就職を機とした市外転出は避けられないと予想されますが、市内の住みやすさ、働きやすさの向上を図り、市外に流出する人口の減少速度を緩やかにすることで、目標人口の達成を目指すものとします。

住みやすさ
働きやすさ
産業の稼ぐ力
愛着・定住



①ともに創る ～産業の振興と雇用を創出し定住できるまち～

▶地場産業支援事業（高野口産地ブランディング事業）＜産業振興課＞

拡充

住

令和7年度のブランドコンセプトを基にクリエイティブ制作やSNS企画など具体的なブランディング活動によって産地ブランドの確立を図ります。



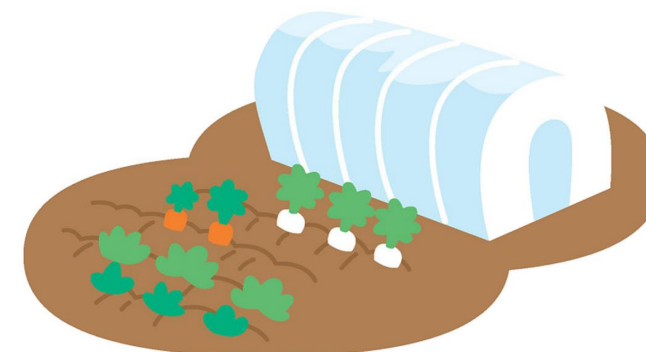
▶農業法人化・担い手確保＜産業振興課＞

拡充

住

農業振興条例関連補助事業を見直し、法人化による農地の拡大や人材の確保に対する支援事業を加え、将来の担い手確保と農地の維持を目指します。

- ・農業法人化事業
- ・農業用水路補修支援事業
- ・農業人材獲得支援事業



①ともに創る ～産業の振興と雇用を創出し定住できるまち～

▶紀望の里北側用地整備事業<農林振興課>

継続

魅

紀望の里北側用地に、自然環境を満喫し、家族連れが楽しめる全天候型の施設を建設します。施設内には舞台、木製遊具、人工芝を設置し、イベントや子どもの遊び場など人が集う拠点を創出します。

R7年度:設計 R8・R9年度:工事

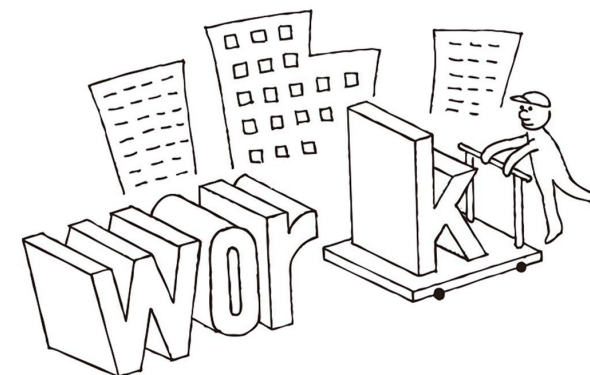


▶市内事業者雇用状況調査委託事業<産業振興課>

新規

住

市内事業者の雇用に関する現状及び課題を把握し、労働力不足の解消に向けた施策の基礎となる調査を実施します。



①ともに創る ～産業の振興と雇用を創出し定住できるまち～

▶戦略的Instagramの活用<シティプロモーション課>

継続

魅

住民に向けた発信（インナープロモーション）と市外に向けた発信（アウトプロモーション）を行い、転出抑止と転入促進を図るためターゲット層に届く戦略的なプロモーションを行います。

住民に向けた発信（インナープロモーション）では、「橋本の良いところ」を発信し、私たちが暮らすこのまちへの愛着（地元愛）を深めるきっかけづくりを行い、市外に向けた発信（アウトプロモーション）では、「橋本市での暮らし」をイメージしてもらえ情報を発信します。特に「子育て環境の充実」や「住みやすさ」を重点的にアピールし、移住や定住の促進、および市のブランドイメージ向上を図っています。



▶インナープロモーション充実事業<秘書広報課>

継続

住

市の取組みをより効果的で戦略的に市民への情報発信していくため、部署を超えた組織を設置し、広報戦略に特化して情報発信を進めます。市民との情報共有が進み、市民との協働のまちづくりをより一層進めます。

②ともに守る ～安全・安心な暮らしを守り支えるまち～

▶自主防災組織強化事業<危機管理室>

地域での防災・減災力の強化を図るため、自主防災組織への活動や資機材再整備に対する資金などの支援をします。
また、女性をはじめとする多様な視点を持った防災リーダーの育成・活躍を支援します。さらに避難所受付システムを導入し、迅速かつ正確な避難所運営を進めます。

拡充



▶消防力整備強化事業<消防本部>

多様化・激甚化する災害に対応し、化学消防自動車の配備や消防ポンプ自動車の計画的更新を行い災害即応体制の強化を図ります。また、施設や事業所に応急手当の普及とAEDの設置を推進し、地域全体で命を守る体制をつくります。

継続



②ともに守る ～安全・安心な暮らしを守り支えるまち～

▶齋場太陽光発電設備導入事業<生活環境課>

新規

南海トラフ地震等の大規模災害時においても齋場の機能が維持できるよう、太陽光パネル及び蓄電池設備の導入と施設の長寿命化を検討し、災害時の対応強化とあわせ二酸化炭素の排出抑制を図ります。



▶空家再生インフルエンサー養成事業<建築住宅課>

新規

住

空家を再生させ、SNSでの配信や内覧会開催に取り組む空家再生インフルエンサーとして活動する人に対して空家の改修工事費を助成し、新たな空家再生への波及や橋本市への移住のきっかけづくりを進めます。



②ともに守る ～安全・安心な暮らしを守り支えるまち～

▶立地適正化計画の策定<まちづくり課>

新規

人口減少や少子高齢化が進む中、すべての世代の方が安心して快適に暮らすことができるよう、居住機能や都市機能を緩やかに誘導し、持続可能なまちづくりを目指す計画を策定します。

▶市道維持修繕（舗装修繕、修繕）<都市整備課>

継続

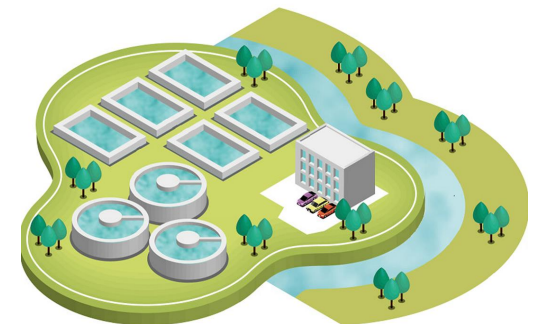
道路の予防修繕や損傷箇所への対応を行い、安全性の確保を行うとともに、道路ストックの長寿命化事業を行います。

▶浄水場・配水池・中継ポンプ場の耐震化及び設備更新

<水道施設課>

継続

安全においしく飲める水を安定的に供給していくため、施設の耐震化及びダウンサイジングを考慮した機械電気設備の更新を進めます。令和8年度は紀見ヶ丘配水池の耐震化・機械電気設備更新、浄水場のポンプ設備更新などを行います。



③ともに育てる ～子どもから高齢者までともに育み学び合うまち～

▶保育補助者雇上強化事業<こども課>

新規

子

こども園等における保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的とし、保育補助者の雇上げに必要な費用を補助します。

▶児童育成支援拠点事業<子育て応援課>

新規

子

養育環境等に課題を抱える児童に対して、居場所となる場を開設し、生活習慣の形成や学習のサポート、進路等の相談支援、食事の提供等を行うとともに、児童及び家庭の状況をアセスメントし、関係機関へのつなぎを行う等の個々の児童の状況に応じた支援を行う民間事業者に対し補助金を交付します。

▶女性相談支援事業<人権・男女共同推進室>

新規

DVなどの困難な問題を抱えている女性の総合支援窓口を設置し、幸せな社会生活や家庭生活を送れるよう支援します。



③ともに育てる ～子どもから高齢者までともに育み学び合うまち～

▶市立小中学校におけるICT教育の充実<学校教育課>

拡充

子

授業支援システム、アダプティブドリル、CBTシステムを整備するとともに、児童生徒の学習用端末の持ち帰りにより家庭学習の充実を図ります。また、特別支援教育や不登校生・外国籍子女等に対して、ICTを活用して個別の支援を充実させます。

▶教育相談・適応指導の充実<教育支援センター>

新規

子

教育支援センターに心理士を2名増員するなど、支援体制の強化を図ります。オンライン相談の実施や適応教室「憩の部屋」では一人ひとりにとって安心できる居場所となるよう工夫を図ります。また、心理士による訪問カウンセリングを実施していきます。

▶新しい学校づくりの推進<学校再編推進室>

新規

子

子供たちが自らの可能性を最大限に発揮し、社会変化の激しい時代をたくましく生き抜く力を育むために新しい学校づくりの取り組みを進めます。その一つとして、望ましい学校規模の観点から、まずは隅田小学校と恋野小学校の再編統合に向けて、保護者、地域住民、教育関係団体などで構成する学校再編準備委員会で話し合いを行います。



③ともに育てる ～子どもから高齢者までともに育み学び合うまち～

▶高野口中学校移転改築基本計画策定事業<教育総務課>

継続

子

地域住民等が参加する高野口中学校移転改築検討委員会を開催します。ワークショップ等を通じてさまざまなご意見をいただき、まちなかへ移転する高野口中学校が生徒にとってより良い教育環境となるよう、また、地域づくりの核となる学校を目指して基本計画を策定します。



▶応其小学校第1学童保育所改築事業<教育総務課>

拡充

子

老朽化が進んでいる応其小学校第1学童保育所を立て直し、より良い環境で放課後から家庭に帰るまでの生活の場としての環境を整備します。



02 行政推進の基本姿勢 重点化事業

行政推進の基本姿勢

▶Hashi-Mo（ハシモ）活用事業による経済循環、施策・市民協働の推進

拡充

橋本市デジタル地域通貨（ハシモ）を活用し、各施策の促進や地域課題解決の促進、担い手の掘り起こしのためポイント付与や、経済対策の生活者支援として1万円分を配布など実施します。

【ハシモ活用事業】



さんかくポイント

ボランティア、市の講座や教室などへの参加
新たに地域ふれあいサロン運営ボランティア など



推進ポイント

生ごみリサイクル、生活支援・移動支援活動、
運転免許自主返納、空き家バンク、特定健診受診 など



くらし応援給付金（R7補正）

物価高騰による生活者支援として75歳未満の市民の方
に対し1万円分を給付



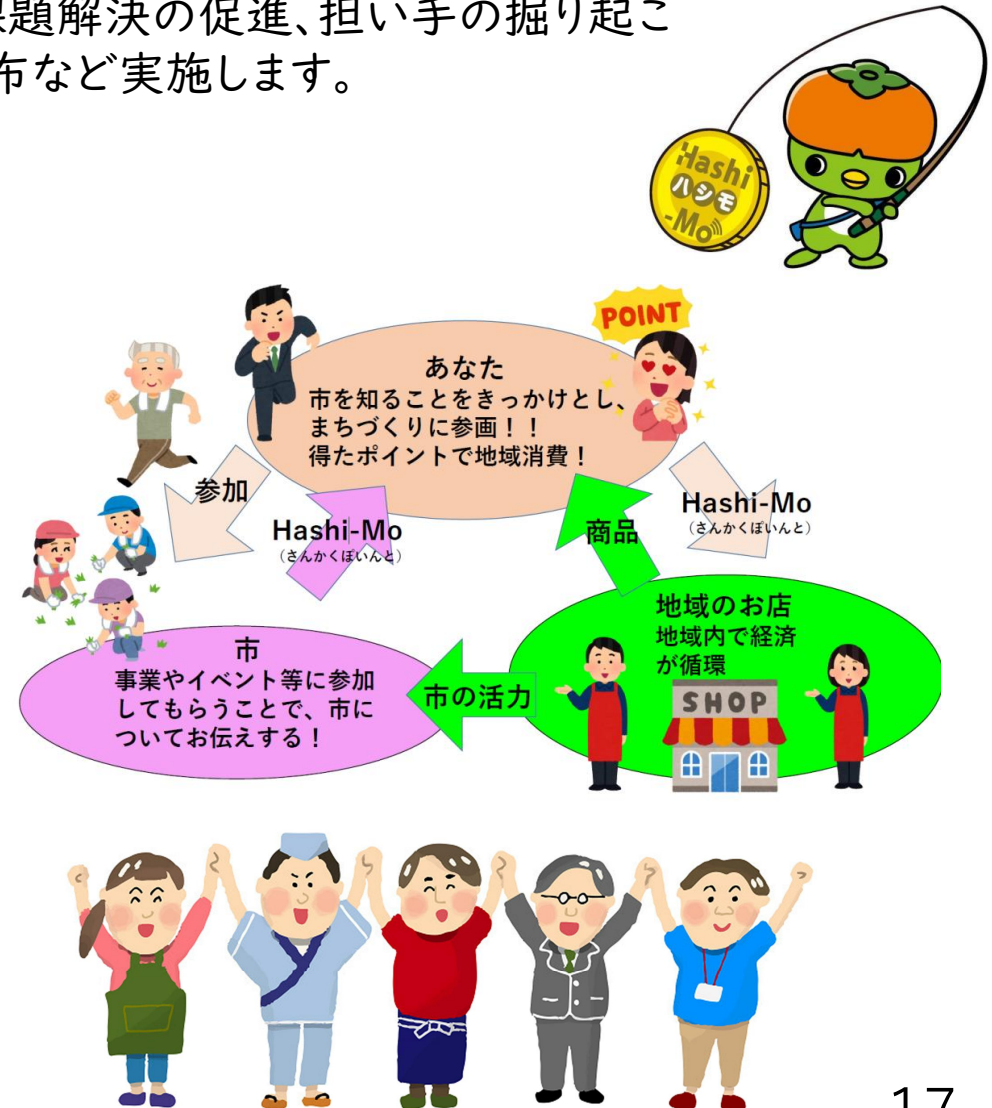
転入夫婦新築住宅取得補助金

30万円のうち5万円分をハシモを付与



商工団体によるハシモ活用事業

商工関係団体での事業でハシモを付与



行政推進の基本姿勢

▶新庁舎整備事業<政策企画課>

継続

市民の利便性やサービスの向上を図るとともに、新庁舎エリアの魅力向上、交流・協働など共創拠点を目指し、導入機能や施設計画、民間活力導入可能性調査、事業手法の決定など、市民ワークショップを開催しながら基本計画の策定を行います。

人にやさしい出会いとつながりの場

～いつでも、いつまでも、どこからでも～

市民、職員、訪れる人みんなの居場所として、ふるさと橋本市の未来へのかけはしとなる新たな共創拠点

1 市民サービスや働きやすさの向上につながる庁舎

・スマート窓口・行政手続きオンライン化・ICT活用・ワンストップ
・DX推進・効率的で効果的な執務機能・働き方改革

2 交流・協働によるまちづくりの拠点となる庁舎

・市民交流・市民協働・共創の拠点づくり
・居場所づくり(サードプレイス)

3 誰もが利用しやすく開かれた庁舎

・利用者動線・ユニバーサルデザイン
・市民に開かれた議会

4 安全・安心を守り支える庁舎

・災害対策・業務継続
・庁舎のライフライン維持

5 環境にやさしい庁舎

・省資源・省エネルギー
・環境負荷低減への配慮

6 経済的で将来変化に対応できる庁舎

・ライフサイクルコスト
・柔軟性(フレキシビリティ)



▶人材育成<職員課>

拡充

人材育成基本方針に基づき、多面的な視点で物事を考え、地域のために積極的に行動できる職員を育成します。また、若手職員の研修等を充実し、更なる市民満足度の向上を目指します。



行政推進の基本姿勢

▶窓口・バックオフィスのアウトソーシングの推進<財政課>

拡充

窓口や内部事務の一部でのアウトソーシングを推進し、捻出された人員をお困りごとの相談など行政の役割が増えると見込まれる分野へ振り向けることにより、業務改革を進めると同時に市民サービスの向上へつなげます。

R8年度は学校用務員業務について、設備の修繕などより幅広い範囲の業務に拡充してアウトソーシングを開始します。また、内部事務でもR7年度に試行導入した年末調整事務のアウトソーシングを本格導入することにより、必要な分野への人員や時間の再配置を加速します。



03 DX推進事業 主なもの

▶避難所受付のDX事業<危機管理室>

新規

マイナンバーカードやQRコードを活用した避難所受付のシステムを導入し、災害時の避難所受付の待ち時間を短縮させるとともに、名簿管理の迅速化を図ります。



▶窓口DXの推進<政策企画課>

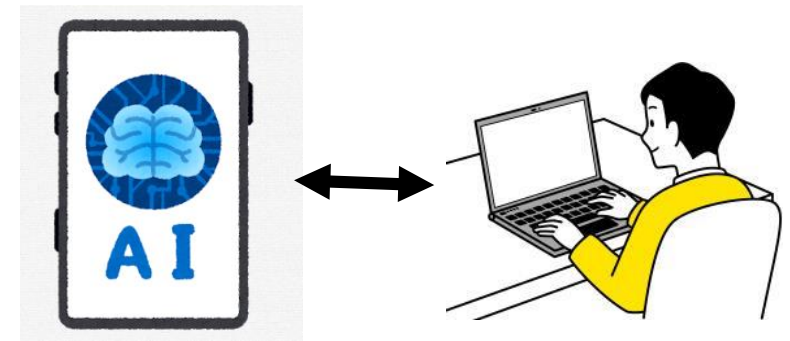
継続

マイナンバーカードの活用により、窓口で提出する申請書を自動で作成できる仕組みを構築しています。引き続き、誰でも簡単に活用できる窓口DXを進めていきます。

▶生成AIの活用<政策企画課>

継続

文書作成、データ利活用など幅広い業務で生成AIを適切に活用することにより、職員の業務の効率化や業務改善を図ります。
また、市民サービスの向上につながるような活用方法も進めていきます。



▶教育推進のDX事業<教育総務課/学校教育課>

継続

橋本市内の公立中学校において指導者用デジタル教科書を導入します。デジタル教科書を電子黒板と併せて授業で活用することにより、児童生徒の学習理解の向上、教員の負担軽減を実現します。令和8年度から児童生徒の学習用端末が新機種になり、より快適な操作環境となります。

教室



▶きめ細かな教育支援体制構築事業<学校教育課>

継続

特別支援教育において多種多様な子どものニーズに的確に応えていくために、ICTを活用した特別支援教育の支援体制を構築し、質の高い教育を提供します。また、不登校生・外国籍子女等に対して、ICTを活用して個別の支援を充実させます。

誰一人取り残さない
学びを提供する

多様な子どもに学びを届けるために一人ひとりの実態に合わせた合理的配慮や指導内容を提案します。



子どもと向き合う
先生を支える

先生が安心して楽しく指導に臨めるよう、指導内容の考案と同時に、専門性向上を目指します。先生の業務負担を軽減し、子どもに向き合う時間を増やします。



切れ目なく
学びをつなげる

ICTを用いたデータを連携することで子どもの実態や指導内容を学校内や関係機関へスムーズに共有でき、切れ目のない支援体制の構築に貢献します。

